

令和2年度当初予算案
(令和元年度2月補正含む)

主要事項説明資料

建設交通部

主要事項説明資料目次

建設交通部

頁	事 業 名	担当課
1	公共事業費	監理課
2	単独公共事業費	監理課
3	防災・減災対策事業費	監理課 河川課 砂防課
4	府民協働型インフラ保全事業費 緊急浚渫推進事業費	指導検査課 河川課 砂防課
5	鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業費 鉄道駅利便性向上整備事業費	交通政策課
6	J R 奈良線複線化・高速化整備事業費	交通政策課
7	北近畿タンゴ鉄道支援費	交通政策課
8	新モビリティサービス推進事業費	交通政策課
9	鴨川納涼事業費	河川課
10	中小河川タイムライン作成支援事業費	砂防課
11	J R 向日町駅周辺地区市街地再開発事業費補助金	都市計画課
12	木津川運動公園北側区域官民連携調査事業費	都市計画課
13	きょうと上下水道未来づくり総合対策事業費	水環境対策課
14	農林水産業基盤整備事業費	水環境対策課
15	住宅耐震化総合支援事業費	建築指導課
16	大規模建築物耐震化支援事業費	建築指導課
17	緊急輸送道路沿道建築物耐震化支援事業費	建築指導課
18	府営住宅向日台団地整備事業費	住宅課
19	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費	港湾企画課
20	「海の京都」事業費	港湾企画課
21	京都・かぐや姫観光推進事業費	道路建設課 道路管理課

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	建設交通部関係 公共事業費		新規・ 継続の別		継 続									
	予 算 額	59,004,347千円 (うち当初:51,108,347千円 2月補正:7,896,000千円)	国 庫	起 債	その他	一般財源								
23,270,482			33,310,000	2,076,901	346,964									
事業内容	<p>1 趣 旨 国の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」及び「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を活用し、京都府総合計画(京都夢実現プラン)に基づく「災害からの安心・安全」、「成長・交流・暮らしの基盤づくり」等に向けた基盤整備を着実に推進</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;"> 生活・交通基盤整備 </td> <td style="text-align: right; padding: 5px;"> 35,249,430千円 (うち当初:30,861,430千円、2月補正:4,388,000千円) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 物流ネットワーク強化として、高規格道路へのアクセス道路を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山城総合運動公園城陽線(城陽橋) [城陽市]、 国道312号(大宮峰山インター線) [京丹後市]、 宇治木屋線(犬打峠) [宇治田原町・和束町] ほか ▶ 観光周遊・地域間交流の促進を図る道路ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道423号(法貴バイパス) [亀岡市]、 国道429号(榎峠バイパス) [福知山市～兵庫県丹波市] ほか ▶ 未就学児等の交通安全緊急対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・掛津峰山線[京丹後市]、(都)小倉西舞鶴線[舞鶴市] ほか ▶ 緊急輸送道路等における冠水対策及び無電柱化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・国道163号(有市) [笠置町]、(都)御陵山崎線[長岡京市] ほか </td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> 安心・安全基盤整備 </td> <td style="text-align: right; padding: 5px;"> 23,754,917千円 (うち当初:20,246,917千円、2月補正:3,508,000千円) </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模な浸水、土砂災害等による被害の防止・軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川[京都市]、戦川[宇治市]、桂川[亀岡市]、高野川[舞鶴市]、竹野川[京丹後市]、大野ダム(事前放流目標水位低下)[南丹市]、北川[京都市]、谷山川[南丹市] ほか ▶ 集中豪雨による浸水被害を軽減する雨水対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・いろは呑龍トンネルのポンプ場や公共下水道接続施設の整備 </td> <td></td> </tr> </table>						生活・交通基盤整備	35,249,430千円 (うち当初:30,861,430千円、2月補正:4,388,000千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 物流ネットワーク強化として、高規格道路へのアクセス道路を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山城総合運動公園城陽線(城陽橋) [城陽市]、 国道312号(大宮峰山インター線) [京丹後市]、 宇治木屋線(犬打峠) [宇治田原町・和束町] ほか ▶ 観光周遊・地域間交流の促進を図る道路ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道423号(法貴バイパス) [亀岡市]、 国道429号(榎峠バイパス) [福知山市～兵庫県丹波市] ほか ▶ 未就学児等の交通安全緊急対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・掛津峰山線[京丹後市]、(都)小倉西舞鶴線[舞鶴市] ほか ▶ 緊急輸送道路等における冠水対策及び無電柱化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・国道163号(有市) [笠置町]、(都)御陵山崎線[長岡京市] ほか 		安心・安全基盤整備	23,754,917千円 (うち当初:20,246,917千円、2月補正:3,508,000千円)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模な浸水、土砂災害等による被害の防止・軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川[京都市]、戦川[宇治市]、桂川[亀岡市]、高野川[舞鶴市]、竹野川[京丹後市]、大野ダム(事前放流目標水位低下)[南丹市]、北川[京都市]、谷山川[南丹市] ほか ▶ 集中豪雨による浸水被害を軽減する雨水対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・いろは呑龍トンネルのポンプ場や公共下水道接続施設の整備 	
生活・交通基盤整備	35,249,430千円 (うち当初:30,861,430千円、2月補正:4,388,000千円)													
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 物流ネットワーク強化として、高規格道路へのアクセス道路を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・山城総合運動公園城陽線(城陽橋) [城陽市]、 国道312号(大宮峰山インター線) [京丹後市]、 宇治木屋線(犬打峠) [宇治田原町・和束町] ほか ▶ 観光周遊・地域間交流の促進を図る道路ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・国道423号(法貴バイパス) [亀岡市]、 国道429号(榎峠バイパス) [福知山市～兵庫県丹波市] ほか ▶ 未就学児等の交通安全緊急対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・掛津峰山線[京丹後市]、(都)小倉西舞鶴線[舞鶴市] ほか ▶ 緊急輸送道路等における冠水対策及び無電柱化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・国道163号(有市) [笠置町]、(都)御陵山崎線[長岡京市] ほか 														
安心・安全基盤整備	23,754,917千円 (うち当初:20,246,917千円、2月補正:3,508,000千円)													
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模な浸水、土砂災害等による被害の防止・軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川[京都市]、戦川[宇治市]、桂川[亀岡市]、高野川[舞鶴市]、竹野川[京丹後市]、大野ダム(事前放流目標水位低下)[南丹市]、北川[京都市]、谷山川[南丹市] ほか ▶ 集中豪雨による浸水被害を軽減する雨水対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・いろは呑龍トンネルのポンプ場や公共下水道接続施設の整備 														
担当課・担当名	監理課 経理担当	課・担当 電話番号	075-414-5173											

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	建設交通部関係 単独公共事業費		新規・継続の別		一部新規	
	予算額	17,287,000千円	国庫 —	起債 14,332,000	その他 586,841	一般財源 2,368,159
事業内容 目的 対象 方法等	1 趣 旨					
	府民のくらしの安心・安全を守るための防災基盤整備、橋梁等社会インフラの計画的な予防補修、きめ細やかな小規模改良事業の実施に加え、維持管理上重要な箇所等の浚渫を推進					
	2 事業概要					
	防災基盤整備			4,417,301千円		
	府民の安心・安全を守るための防災基盤整備について、ソフト・ハード対策を最適に組み合わせながら、重点実施					
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ソフト対策 <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報システムの運用 ほか ▶ ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> ・天井川対策の推進、河川管理施設機能向上、避難所等の防災拠点の保全 ほか 					
	緊急自然災害対策事業費 (940,000千円)		安心して暮らせる地域をつくるため、災害発生予防、被害の拡大を防止する防災基盤を緊急的に整備			
	緊急浚渫推進事業費 【新規】(900,000千円)		国で新設された地方財政措置を活用し、維持管理上重要な箇所等の浚渫を推進			
	インフラ長寿命化対策			4,419,928千円		
	橋りょう、舗装、砂防施設の予防補修を実施					
府民協働型インフラ保全 事業費(2,900,000千円)		府民からの提案による安心・安全整備及びインフラ長寿命化対策を実施				
地域密着型基盤整備			8,449,771千円			
府民生活や地域の安心・安全の確保に繋がる、きめ細やかな小規模改良事業を実施						
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域道路の1.5車線の整備、道路未改良区間の拡幅 ほか ▶ 河川の護岸補修 ほか 						
担当課・担当名	監理課 経理担当		課・担当 電話番号		075-414-5173	

令和2年度当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

共 通

事業名	防災・減災対策事業費		新規・継続の別		一部新規	
	予 算 額	42,652,213千円	国庫 13,568,799	起債 23,744,000	その他 1,630,473	一般財源 3,708,941
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣旨・目的 府総合計画の実現に向け、頻発・激甚化傾向にある集中豪雨や今後発生が予想される南海トラフ地震等に備えた先進的な防災・減災対策を講じる。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 先進的な危機管理・安心安全体制の構築【新規（一部）】(770,617千円)</p> <p>ア 府・市町村の危機管理体制の強化(334,971千円) あらゆる危機事象に対応できる危機管理センター設置に向けた検討【①】ほか</p> <p>イ 逃げ遅れゼロ・プロジェクトの推進(435,646千円)</p> <p>(7) 避難情報の充実 ・雨量により通行規制となる道路の危険度情報等を発信【⑧】 ・府管理河川の浸水想定区域図を作成【⑩】 ・府内中小河川において、避難開始を判断する目安となる水位を設定【⑩】 ・防災重点ため池ハザードマップ等の作成支援【④】ほか</p> <p>(4) 避難体制の強化 ・消防団と自主防災組織が連携したプッシュ型避難誘導や訓練等の取組を支援【①】 ・災害時要支援者が避難所で必要となる備品等の整備を支援【③】ほか</p> <p>(2) 防災・減災基盤づくり(39,289,808千円)</p> <p>ア 総合的な治水対策(26,376,761千円)</p> <p>(7) 「河川改修」 ＜河 川＞鴨川(京都市)、戦川(宇治市)、桂川(亀岡市)、高野川(舞鶴市)、竹野川(京丹後市)、大野ダム(事前放流目標水位低下)(南丹市)等【⑨】</p> <p>(4) 「貯留施設整備」 ＜下 水＞いろは呑龍トンネル(京都市、向日市、長岡京市)【⑪】 ＜ため池＞廻り池(亀岡市、南丹市)等【④】ほか</p> <p>(7) 「災害に備える環境整備」 ＜治 山＞下山田(与謝野町)等【⑤】ほか</p> <p>イ 土砂災害対策(3,277,155千円) ＜砂 防＞北川(京都市)、谷山川(南丹市)等【⑩】ほか</p> <p>ウ 森林災害対策(3,593,624千円)【⑤、⑥】 平成30年災害(風倒木被害)からの復旧と今後の流木被害の未然防止対策強化</p> <p>エ 地震災害対策(4,701,091千円)【⑦】 住宅や緊急輸送道路沿道建築物の耐震化支援など、耐震化対策の重点実施ほか</p> <p>オ 原子力災害対策(1,341,177千円)【②】 避難路整備や資機材整備など原子力災害発生時における避難体制の強化</p> <p>(3) その他(2,591,788千円) 土木施設等の災害復旧や総合防災訓練の実施、備蓄物資の充実、災害ボランティアセンター運営ほか</p>					
課・担当 電話番号	危機管理部 健康福祉部 農林水産部 建設交通部	①防災消防企画課 ②原子力防災課 ③障害者支援課 ④農村振興課 ⑤森の保全推進課 ⑥林業振興課 ⑦監理課 ⑧道路管理課 ⑨河川 ⑩砂防課 ⑪水環境対策課	課・担当 電話番号	075-414-4466 075-414-4473 075-414-4603 075-414-5053 075-414-5028 075-414-5006 075-414-5173 075-414-5261 075-414-5285 075-414-5315 075-414-5212		

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部
警察本部

事業名	府民協働型インフラ保全事業費 緊急浚渫推進事業費		新規・ 継続の別		継 続 新 規										
	予 算 額	4, 000, 000千円	国 庫	起 債	その他	一般財源									
				—	3,993,000	—	7,000								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 (1) インフラの長寿命化やきめ細やかな地域づくりに生かすため、身近な安心・安全につながる小規模な工事及びインフラの劣化等に関する府民の気付きを募集し、府民協働によるインフラ保全を推進する。(安心・安全整備、インフラ長寿命化対策) (2) 全国各地で河川氾濫等による大規模な浸水被害等が発生したことから、国で新設された地方財政措置を活用し、維持管理上重要な箇所等の浚渫を推進</p> <p>2 事業概要 (1) 府民協働型インフラ保全事業費（3,100,000千円）【①④】</p> <table border="1" data-bbox="466 1120 1385 1615"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>所要額</th> <th>所 管</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路側溝の整備 歩道の段差解消 道路舗装の補修 河川護岸の補修 道路法面等の補修</td> <td>2,900,000</td> <td>建設交通部</td> </tr> <tr> <td>信号機の新設 信号機の改良（歩行者用灯器の増灯、視覚障害者用付加装置の設置） 横断歩道等の設置 道路標識・道路標示等の補修</td> <td>200,000</td> <td>警 察 本 部</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 緊急浚渫推進事業費（900,000千円）新規【②③】 堆積状況や人家への危険度に応じて、対策の優先度の高い箇所を河川維持管理計画等に位置付け、緊急的に浚渫を実施</p>						事業内容	所要額	所 管	道路側溝の整備 歩道の段差解消 道路舗装の補修 河川護岸の補修 道路法面等の補修	2,900,000	建設交通部	信号機の新設 信号機の改良（歩行者用灯器の増灯、視覚障害者用付加装置の設置） 横断歩道等の設置 道路標識・道路標示等の補修	200,000	警 察 本 部
事業内容	所要額	所 管													
道路側溝の整備 歩道の段差解消 道路舗装の補修 河川護岸の補修 道路法面等の補修	2,900,000	建設交通部													
信号機の新設 信号機の改良（歩行者用灯器の増灯、視覚障害者用付加装置の設置） 横断歩道等の設置 道路標識・道路標示等の補修	200,000	警 察 本 部													
担当課・担当名	①指導検査課 調整 担当 ②河 川 課 整 備 担 当 ③砂 防 課 事 業 担 当 ④ 警 察 本 部 交 通 規 制 課 管 制 仕 事	課・担当 電話番号	075-414-5228 075-414-5285 075-414-5319 (代)075-451-9111(5211)												

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業費 鉄道駅利便性向上整備事業費		新規・ 継続の別	継 続																					
予算額	297,585千円	国庫	起債	その他	一般財源																				
		—	295,000	—	2,585																				
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>鉄道駅の利便性・安全性の向上等を図るため、国庫補助制度と協調し、関係市町とともに、鉄道事業者が行うバリアフリー化事業等に対して助成する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 鉄道駅舎バリアフリー化設備整備事業費（151,600千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象駅</th> <th>主な整備項目</th> <th>予定年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J R 桃 山 駅</td> <td rowspan="4">エレベーター設置 他</td> <td rowspan="2">H30～R2</td> </tr> <tr> <td>J R 山 崎 駅</td> </tr> <tr> <td>J R 黄 檗 駅</td> <td>R2～R5</td> </tr> <tr> <td>近鉄伊勢田駅</td> <td>H30～R2</td> </tr> <tr> <td>J R 京 都 駅</td> <td>ホーム柵設置</td> <td>H30～R3</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 鉄道駅利便性向上整備事業費（145,985千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象駅</th> <th>主な整備項目</th> <th>予定年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J R 西 大 路 駅</td> <td>エレベーター設置 多機能トイレ 他</td> <td>H29～R2</td> </tr> </tbody> </table>					対象駅	主な整備項目	予定年度	J R 桃 山 駅	エレベーター設置 他	H30～R2	J R 山 崎 駅	J R 黄 檗 駅	R2～R5	近鉄伊勢田駅	H30～R2	J R 京 都 駅	ホーム柵設置	H30～R3	対象駅	主な整備項目	予定年度	J R 西 大 路 駅	エレベーター設置 多機能トイレ 他	H29～R2
対象駅	主な整備項目	予定年度																							
J R 桃 山 駅	エレベーター設置 他	H30～R2																							
J R 山 崎 駅																									
J R 黄 檗 駅		R2～R5																							
近鉄伊勢田駅		H30～R2																							
J R 京 都 駅	ホーム柵設置	H30～R3																							
対象駅	主な整備項目	予定年度																							
J R 西 大 路 駅	エレベーター設置 多機能トイレ 他	H29～R2																							
担当課・担当名	交通政策課 整備担当	課・担当 電話番号	075-414-4360																						

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	JR奈良線複線化・高速化整備事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	2,253,392千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	2,252,000	—	1,392
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>二つの古都（京都ー奈良）を結ぶJR奈良線の利便性向上による京都府南部地域の活性化を図るため、JR奈良線の複線化・高速化第二期事業の早期完成を目指す。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 複線化本体事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道施設設計 ・線増工事 <p>(2) 複線化に伴う関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城青谷駅 (R1~R4) 駅舎橋上化 ・六地藏駅 (H28~R5) 駅舎改築 				
担当課・担当名	交通政策課 整備担当	課・担当	電話番号	075-414-4360	

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援費		新規・ 継続の別	継 続	
予 算 額	350,715千円	国 庫	起 債	その他	一般財源
		—	—	—	350,715
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>安心・安全・快適性を確保するための基盤部分（インフラ）への支援を行う。</p> <p>2 事業概要</p> <p>基盤部分（線路・電路・車両）の維持管理等に係る経費に対して支援</p>				
担当課・担当名	交通政策課 調整担当	課・担当	電話番号	075-414-4360	

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	新モビリティサービス推進事業費		新規・継続の別		一部新規	
	国庫	起債	その他	一般財源		
予算額	3,000千円		—	—	—	3,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>MaaSによるシームレスな移動と生活交通を確保し、活力ある地域づくりを推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>南山城村におけるMaaS及び京都府北部のWILLERS MaaSの取組を発展・継承させ、利用可能地域を拡大するとともに、利用者への普及を図り、地域公共交通の活性化を図る。</p> <p>(1) 過疎地域型MaaS普及推進費（相楽地域の取組） ・MaaSアドバイザー養成・設置等に係る支援</p> <p>(2) MaaS利用促進事業費（共通の取組）新規 ・MaaSシンポジウムの開催に併せたMaaSアプリ体験ツアーの実施等</p> <p>〔※MaaS (Mobility as a Service) 一人一人の移動ニーズに応じて、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うことを可能にするサービス〕</p>					
担当課・担当名	交通政策課 企画担当 調整担当		課・担当 電話番号		075-414-5143 075-414-4360	

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

商工労働観光部

建設交通部

事業名	鴨川納涼事業費			新規・	継続
	国庫	起債	その他	一般財源	
予算額	14,800千円			6,900	7,900
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 鴨川美化啓発活動として昭和44年より開催され、多くの府民に親しまれ京の夏の風物詩として定着した「鴨川納涼」を、河川愛護、環境保全の啓発及び観光誘客事業として実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 開催時期 令和2年8月1日（土）～2日（日）（予定）</p> <p>(2) 開催場所 鴨川河川敷（四条～三条間）</p> <p>(3) 事業主体 鴨川納涼実行委員会 <構成団体> 〔京都府、京都市、京都商工会議所、(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、(一社)鴨川流域ネットワーク、鴨川を美しくする会、京都ふるさとの集い連合会〕</p> <p>(4) 内 容 ・河川愛護、水環境保全、地球温暖化防止等の啓発 ・京都の伝統産業、文化の紹介 ・京都ふるさとの集い連合会によるふるさと製品の展示即売</p>				
担当課・担当名	観光事業推進課 地域観光振興担当 河 川 課 管 理 担 当		課・担当 電話番号	075-414-4837 075-414-5282	

令和2年度当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	中小河川タイムライン作成支援事業費			新規・ 継続の別	継 続
予算額	20,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		—	—	—	20,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>中小河川における洪水時の住民避難を促進するため、避難判断の目安となる水位を設定し、市町村や自主防災組織等の水害等避難行動タイムライン作成を支援</p> <p>2 内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象河川の基本条件（河川断面、流域面積、流路延長等）を調査 蓄積した水位データと雨量実績から、水位上昇速度を分析し、河川ごとに避難開始を判断する水位を設定 設定した避難判断の目安となる水位や河川情報を市町村へ提供し、市町村の水害等避難行動タイムラインの作成を支援 				
担当課 担当名	砂防課 防災担当		課・担当 電話番号	075-414-5315	

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	JR向日町駅周辺地区市街地再開発事業 費補助金		新規・ 継続の別	新規													
予算額	52,000千円	国庫	起債	その他	一般財源												
		—	45,000	—	7,000												
事業内容	<p>1 趣 旨 人口減少・超高齢化社会の到来等を踏まえ、集約型都市構造の実現を目指し、土地の有効利用の促進に加え、既成の都市機能を更新し、都市の魅力を高めるため、市街地再開発事業による都市基盤の再整備を支援する。</p>																
目的 対象 方法等	<p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所：向日市森本町野田、寺戸町久々相（JR向日町駅東口・西口） ・区域面積：約0.8ha ・施行者：市街地再開発組合 ・主な施設：再開発ビル（36階）、自由通路、東西駅前広場 ・総事業費：約222億円（補助対象事業費約54億円）（予定） ・事業期間：令和2年度～令和7年度（予定） ・府補助対象：再開発ビルに係る調査設計計画、土地整備、共同施設整備費等 <p>【補助金スキーム】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">←</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">補助基本額</td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">国 1/3</td> <td style="text-align: center;">施行者 1/3</td> <td style="text-align: center;">市町村1/6</td> <td style="text-align: center;">府1/6</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>・市街地再開発事業に係る国庫補助対象経費の6分の1（市町村へ補助）</p>					←	補助基本額				→	国 1/3	施行者 1/3	市町村1/6	府1/6		
←	補助基本額				→												
国 1/3	施行者 1/3	市町村1/6	府1/6														
担当課・担当名	都市計画課 地域整備担当		課・担当 電話番号	075-414-5333													

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	木津川運動公園北側区域官民連携調査事業費		新規・ 継続の別	継 続	
予算額	40,000千円	国庫	起債	その他	一般財源
		18,000	—	—	22,000
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 木津川運動公園（北側区域）について、周辺土地利用計画の具体化や道路計画の進展を受け、環境や時代のニーズに柔軟に対応できるよう、総合的な視点でこれまでの施設計画を見直し、地元の要望等も含め幅広く意見を聞きながら新たな整備計画を策定し、早期整備に向けて取組を進める。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 官民連携調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施可能な公募条件や官民連携手法の検討 ・官民連携事業計画策定 ・造成計画、園路・駐車場等の施設配置の検討等 <p>(2) 調整池基本設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整池の規模・構造の検討 				
担当課・担当名	都市計画課 公園担当		課・担当 電話番号	075-414-5272	

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

府民環境部
建設交通部

事業名	きょうと上下水道未来づくり総合対策事業費			新規・ 継続の別	継続
予算額	36,700千円	国庫	起債	その他	一般財源
		17,000	—	—	19,700
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 目的 将来にわたる安心・安全な上下水道サービスの供給体制を築くため、京都水道グランドデザイン等に基づく市町村の取組を支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 水道基盤強化推進費① 22,000千円 ・京都府水道事業広域的連携等推進協議会の開催 ・京都府水道事業のあり方に関する将来推計の実施</p> <p>(2) 下水道広域化推進費② 14,700千円 ・広域化・共同化関係会議の運営 ・広域化・共同化基本方針(案)の策定に向けた調査</p>				
担当課名	①公営企画課 水道行政・広域化担当 ②水環境対策課 計画担当	課・担当	電話番号	075-414-4373 075-414-5209	

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

農 林 水 産 部
建 設 交 通 部

事業名	農林水産業基盤整備事業費		新規・継続の別		継 続	
	予 算 額	国 庫	起 債	その他	一般財源	
	10,285,585千円 (うち2月補正 4,304,000千円)	7,163,522	2,719,000	256,986	146,077	
事業内容 目 的 対 象 方法等	<p>1 趣 旨 ブランド京野菜などの生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、農山漁村地域の整備、防災・減災対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>■生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業競争力の強化に向けた生産性の高い農地の整備 ① (国営亀岡中部地区、福知山市川北地区 等) ・効率的な間伐に必要な路網の整備 ③ ④ ・老朽化が進行する施設の長寿命化に向けた整備 ① ② ③ 農業水利施設(京田辺市田辺排水機場地区【継続】等) 漁港施設 等 <p>■農山漁村地域の整備、防災・減災対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村集落における汚水処理施設の整備(農業集落排水) ⑤ ・農村を災害から守るため池等の整備 ① (南丹市廻り池地区【新規】、京丹後市菅地区【新規】 等) ・土砂・立木等の流出を防止する治山ダムの整備 ③ ・風倒木の処理を含めた山地災害の未然防止等 ④ 					
担当課・担当名	①農村振興課 計画基盤担当 防災担当	②水産課 漁業漁村担当	③森の保全推進課 森林土木担当	④林業振興課 林業振興・府有林担当	⑤水環境対策課 計画担当	課・担当 電話番号 075-414-5048 075-414-5053 075-414-4994 075-414-5028 075-414-5006 075-414-5209

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	住宅耐震化総合支援事業費		新規・ 継続の別	継 続																													
予算額	122,145千円	国庫	起債	その他	一般財源																												
		18,675	—	—	103,470																												
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 京都府建築物耐震改修促進計画に基づき、住宅の耐震性の向上を図るため、耐震診断・耐震改修工事及び耐震シェルター設置の助成を行い大地震による被害の軽減を目指す。</p> <p>2 事業内容</p> <p>①耐震診断 ◇耐震診断事業を実施する市町村に対し、その経費の一部を補助</p> <table border="1"> <tr> <td>対象住宅</td> <td>昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>住宅の耐震性の評価、耐震改修工事費の概算、耐震改修等に関するアドバイスを実施</td> </tr> <tr> <td>補助額</td> <td>5.2万円/戸(別途府民負担額 3千円)</td> </tr> </table> <p>②耐震改修等 ◇耐震改修事業等を実施する市町村に対し、その経費の一部を補助</p> <p>●負担割合</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>府</td> <td>市町村</td> </tr> <tr> <td>1/2</td> <td>1/4</td> <td>1/4</td> </tr> </table> <p>●補助内容</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>耐震改修</td> <td>簡易耐震改修</td> <td>耐震シェルター設置</td> </tr> <tr> <td>対象住宅</td> <td colspan="3">昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>改修後の評点が0.7以上に向上する改修</td> <td>屋根の軽量化等、耐震性が確実に向上する改修</td> <td>耐震シェルターの設置</td> </tr> <tr> <td>補助額の上限</td> <td>100万円/戸</td> <td>40万円/戸</td> <td>30万円/戸</td> </tr> </table>					対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅	事業内容	住宅の耐震性の評価、耐震改修工事費の概算、耐震改修等に関するアドバイスを実施	補助額	5.2万円/戸(別途府民負担額 3千円)	国	府	市町村	1/2	1/4	1/4		耐震改修	簡易耐震改修	耐震シェルター設置	対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅			事業内容	改修後の評点が0.7以上に向上する改修	屋根の軽量化等、耐震性が確実に向上する改修	耐震シェルターの設置	補助額の上限	100万円/戸	40万円/戸	30万円/戸
対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅																																
事業内容	住宅の耐震性の評価、耐震改修工事費の概算、耐震改修等に関するアドバイスを実施																																
補助額	5.2万円/戸(別途府民負担額 3千円)																																
国	府	市町村																															
1/2	1/4	1/4																															
	耐震改修	簡易耐震改修	耐震シェルター設置																														
対象住宅	昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅																																
事業内容	改修後の評点が0.7以上に向上する改修	屋根の軽量化等、耐震性が確実に向上する改修	耐震シェルターの設置																														
補助額の上限	100万円/戸	40万円/戸	30万円/戸																														
担当課・担当名	建築指導課 建築防災・安全担当	課・担当 電話番号	075-414-5346																														

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	大規模建築物耐震化支援事業費		新規・ 継続の別	継 続																
予 算 額	8, 249千円	国 庫	起 債	その他	一般財源															
		—	—	—	8,249															
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正（平成25年11月施行）により耐震診断が義務化された民間の大規模建築物に関する耐震化支援事業を実施する市町村に対する助成</p> <p>2 事業概要</p> <p>[補助対象] 不特定多数の者や避難において特に配慮を要する者が利用する建築物で耐震化を図る民間の大規模な建築物</p> <p>[負担割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国</th> <th>市町村</th> <th>府</th> <th>所有者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 計</td> <td>1 / 2</td> <td>1 / 6</td> <td>1 / 6</td> <td>1 / 6</td> </tr> <tr> <td>改 修 等</td> <td>33.3%</td> <td>5.75%</td> <td>5.75%</td> <td>55.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改修等：耐震改修、建替え ※不特定多数の者が利用する建築物の改修等については、災害時の社会貢献が要件</p>						国	市町村	府	所有者	設 計	1 / 2	1 / 6	1 / 6	1 / 6	改 修 等	33.3%	5.75%	5.75%	55.2%
	国	市町村	府	所有者																
設 計	1 / 2	1 / 6	1 / 6	1 / 6																
改 修 等	33.3%	5.75%	5.75%	55.2%																
担当課・担当名	建築指導課 建築防災・安全担当		課・担当 電話番号	075-414-5346																

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

建設交通部

事業名	緊急輸送道路沿道建築物耐震化支援事業費		新規・ 継続の別	継 続																	
予算額	31,570千円		国庫	起債	その他	一般財源															
			12,870	—	—	18,700															
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地震発生時の迅速な救援活動を確保するため、建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、京都府建築物耐震改修促進計画で指定した道路の沿道建築物の耐震化を支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>[補助対象] 地震時に道路を閉塞するおそれがある建築物で、昭和56年5月31日以前に着工した建築物</p> <p>[補助事業] 府の防災拠点施設を結ぶ緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化(耐震診断・耐震設計・耐震改修等)を支援</p> <p>[負担割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国</th> <th>府</th> <th>所有者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診 断</td> <td>1 / 2</td> <td>1 / 2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>設 計</td> <td>1 / 2</td> <td>1 / 3</td> <td>1 / 6</td> </tr> <tr> <td>改 修 等</td> <td>2 / 5</td> <td>1 / 3</td> <td>4 / 15</td> </tr> </tbody> </table> <p>※改修等：耐震改修、建替え、除却</p>						国	府	所有者	診 断	1 / 2	1 / 2	—	設 計	1 / 2	1 / 3	1 / 6	改 修 等	2 / 5	1 / 3	4 / 15
	国	府	所有者																		
診 断	1 / 2	1 / 2	—																		
設 計	1 / 2	1 / 3	1 / 6																		
改 修 等	2 / 5	1 / 3	4 / 15																		
担当課・担当名	建築指導課 建築防災・安全担当		課・担当 電話番号	075-414-5346																	

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

建設交通部

事業名	府営住宅向日台団地整備事業費		新規・ 継続の別	新規							
予算額	26,000千円	国庫	起債	その他	一般財源						
		11,700	—	—	14,300						
事業内容	<p>1 趣 旨</p> <p>築50年以上の府営住宅向日台団地（向日市）において、良好な住環境の整備を図るため、PFI手法による民間活力を活用した建替事業を推進する。</p> <p><団地の概要></p> <table border="1" data-bbox="486 1003 1305 1153"> <tr> <td>棟数・戸数</td> <td>15棟・495戸</td> </tr> <tr> <td>建築年</td> <td>1966年：8棟、1967年：7棟</td> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造5階建</td> </tr> </table> <p>2 事業内容</p> <p>府営住宅向日台団地の建替えに向けた測量や境界確定、PFI手法に関するアドバイザー業務委託等を実施</p> <p>(1) 測量・境界確定業務費（22,700千円） 団地敷地等の測量・境界確定を実施</p> <p>(2) PFIアドバイザー業務委託費（3,300千円） 専門的知識を有するPFIアドバイザーの助言を受けて、実施方針等を策定</p>					棟数・戸数	15棟・495戸	建築年	1966年：8棟、1967年：7棟	構造	鉄筋コンクリート造5階建
棟数・戸数	15棟・495戸										
建築年	1966年：8棟、1967年：7棟										
構造	鉄筋コンクリート造5階建										
担当課・担当名	住宅課 整備担当	課・担当	電話番号	075-414-5363							

令和2年度 当初予算案主要事項(令和元年度2月補正含む)説明

商工労働観光部
建設交通部

事業名	京都舞鶴港日本海側拠点機能推進事業費		新規・継続の別		継続
	国庫	起債	その他	一般財源	
予算額	394,723千円 (うち港湾事業特別会計 250,000千円)		14,043	250,000	12,806 117,874
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 京都舞鶴港において、国際コンテナ航路拡充、国際フェリー航路利用促進、外航クルーズ船誘致等、ソフト・ハード一体となった事業を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) コンテナ20,000TEU実現事業 45,500千円 (担当課:経済交流課) 既存航路の拡充や新規航路開拓のため、コンテナ貨物の20,000TEUの確保を目指して、大口貨物の獲得等に向けた取組を推進</p> <p>(2) 日韓露国際フェリー航路利用拡大事業 12,800千円 (担当課:経済交流課) 日韓露国際フェリーの利用を増やすための取組を推進</p> <p>(3) 国際フェリー受入事業 8,000千円 (担当課:経済交流課、港湾企画課) ・国際・国内フェリー航路を活用したネットワーク確立及び受入体制の構築</p> <p>(4) 国際クルーズ誘致事業 49,466千円 (担当課:経済交流課、港湾企画課) ・日本海側諸港と連携した共同プロモーション活動の実施 ・地元が一体となった乗船客への「おもてなし」の提供</p> <p>(5) 京都舞鶴港クルーズ誘致強化事業 2,000千円 (担当課:経済交流課) ・舞鶴からの乗船客を増やすためのプロモーションを実施 ・クルーズ船誘致のために海外見本市等においてポートセールを実施</p> <p>(6) 貿易振興対策事業 26,957千円 (担当課:経済交流課) 貿易関係団体の育成、対岸諸国等との連携によるポートセールスや港湾関連用地への物流関連企業等の誘致を図り京都舞鶴港を振興</p> <p>(7) 京都舞鶴港物流基盤重点整備事業 250,000千円 (担当課:港湾企画課) 舞鶴国際ふ頭におけるⅡ期整備に向けた地質調査・設計等の実施</p>				
担当課・担当名	経済交流課 港湾経済担当 港湾企画課 調整担当		課・担当電話番号		075-414-4844 0773-75-0192

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

共 通

事業名	「海の京都」事業費			新規・継続の別	一部新規
予算額	723,395千円	国庫	起債	その他	一般財源
		70,438	251,000	6,000	395,957
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨 日本の顔となる「ブランド観光地域」の形成に向け、新たなステージへステップアップを図り、「海の京都」の持続的展開を図るため、観光地経営の主体となるDMO等とともに、地域の総力を結集して観光地域づくりを推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>○ DMOによる「海の京都」の持続的展開 84,085千円 ・DMOが観光地域づくりの総合プロデューサーとして、戦略的な地域ブランド化、観光交流・観光消費額の拡大を図り、地域の稼ぐ力を創出 ・増加が見込まれるインバウンドを含む観光客を「海の京都」へ呼び込むため、情報発信を強化 等</p> <p>○ ブランド観光地域の形成に向けた受入基盤の強化 560,378千円 ・クルーズ船寄港時における利便性向上やおもてなし対策の推進 ・地域の伝統的建造物・古民家等の歴史的資源を活用する取組みの支援 ・地域体験コンテンツを磨き上げて、地域をまるごと滞在施設化 等</p> <p>○ 「海の京都」ブランドのPR 78,932千円 ・丹後王国「食のみやこ」の10次産業化等拠点づくりの推進 ・丹後とり貝や岩がき等の「海の京都」の魅力を代表する水産物等の生産拡大、地域ブランド創出の推進 等</p>				
担当課・担当名	①企画参事（北部担当） ②企画参事（中部担当・府民協働担当） 企画参事（南部担当） ③自然環境保全課 自然環境担当 ④文化政策室 企画・生涯学習担当 ⑤スポーツ振興課 企画担当 ⑥経済交流課 港湾経済担当 ⑦観光企画室 基盤整備担当 ⑧観光事業推進課 地域観光振興担当 ⑨ “ ” 連携交流・広域観光担当 ⑩農村振興課 移住促進担当 里力再生担当 ⑪経営支援・担い手育成課 集落営農・法人化担当 ⑫水産課 漁政企画担当 ⑬港湾企画課 調整担当		課・担当電話番号	075-414-5743 075-414-4385 075-414-4513 075-414-4708 075-414-4217 075-414-4252 075-414-4844 075-414-4854 075-414-4841 075-414-4878 075-414-4906 “ ” 075-414-4908 075-414-4992 0773-75-0192	

令和2年度 当初予算案主要事項（令和元年度2月補正含む）説明

政策企画部
商工労働観光部
建設交通部

事業名	京都・かぐや姫観光推進事業費			新規・ 継続の別	継 続	
予 算 額	171,601千円		国 庫	起 債	その他	一般財源
			85,750	50,000	14,850	21,001
事業内容 目 的 対 象 方 法 等	<p>1 趣 旨</p> <p>世界的観光都市・京都市に近接し、多くの歴史・文化遺産、自然等の資源を有する乙訓エリアを「竹の里・乙訓」をテーマに、「京都・かぐや姫観光」を推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 「竹の里・乙訓」かぐや姫観光推進事業費 ①</p> <p>「竹」をキーワードとした情報発信や物産展の開催、旅行会社やメディアを現地に誘客するファミトリップの実施により、乙訓地域への誘客や賑わいを創出</p> <p>(2) 京都・かぐや姫観光事業費 ②</p> <p>「竹の里・乙訓」地域をはじめとする「もうひとつの京都」エリアにおいて、食や大河ドラマ放映をきっかけとした地域の賑わい創出や京都府文化観光大使と連携した情報発信により、広域的な周遊観光を推進</p> <p>(3) 京都・かぐや姫観光関連道路整備事業 ③④</p> <p>周遊環境を改善するため、道路改良を実施</p>					
担当課・担当名	企画参事（南部担当）① 観光事業推進課 地域観光振興担当② 道路建設課 街路担当③ 道路管理課 安全・指導担当④		課・担当電話番号		075-414-4513 075-414-4877 075-414-5331 075-414-5262	